

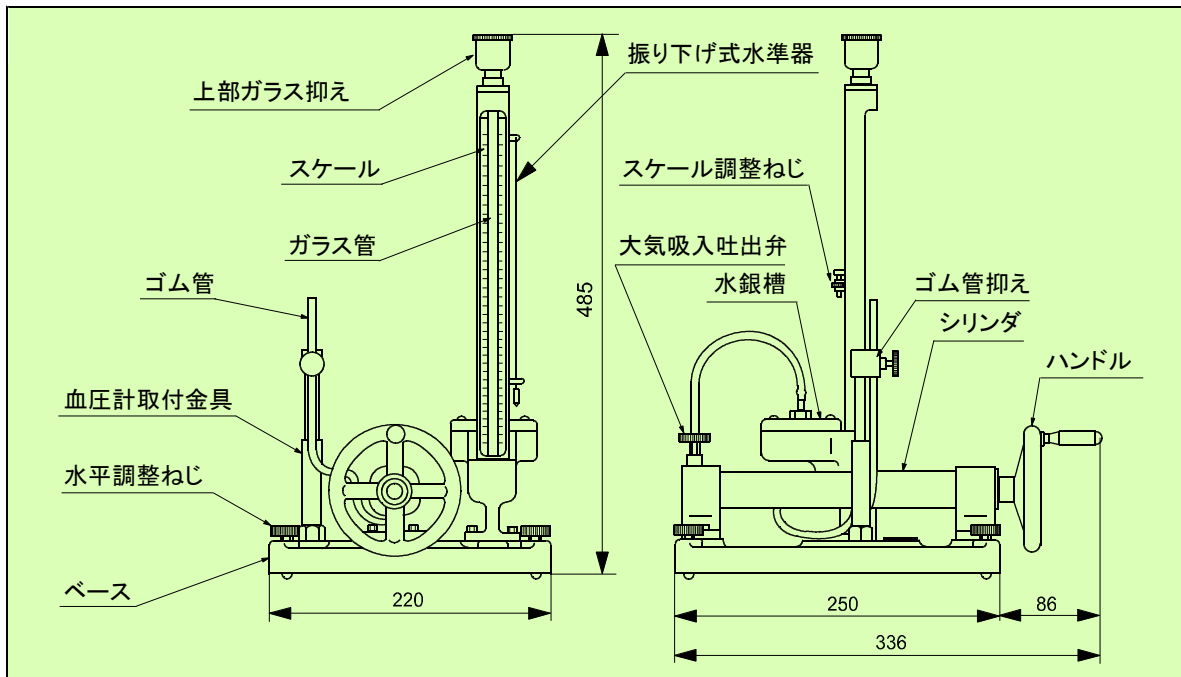
液柱型圧力計

A2

血圧計用基準器(手動加減圧ポンプ付)



A2型基準液柱型圧力計は、デジタル血圧計・アネロイド型血圧計・水銀柱式血圧計等の検査に用いる基準器として高精度を誇るものであり、圧力調整は手動加減圧ポンプ付きで容易に操作できます。また、標準用液柱型圧力計としてもご使用できます。本器は、携帯に便利な格納箱に収納されています。なお、基準器として基準器検査成績書も添付できます。



圧力の範囲	目量	精度	本器の質量
0 ~ 300 mmHg	1 mmHg	± 0.75 mmHg	本体 9 kg 格納箱 4 kg
0 ~ 40 kPa	0.2 kPa	± 0.1 kPa	

A2型 液柱型圧力計 使用説明

本器はベース上に液柱型圧力計、手動加減圧ポンプ、血圧計取付金具等を設置してありますので所定の測定が容易にできます。

- 1. 水平調整**
 本器ベースの4カ所の水平調整ねじで液柱型圧力計の振り下げ式水準器により水平を出します。
- 2. 零点調整**
 大気吸入吐出バルブを開け、スケール調整用ねじを回してスケールを上下にスライドさせスケールの目盛線(零点)と水銀の頂点とを一致させます。
- 3. 加圧操作**
 圧力取出口のゴム管に測定を行う血圧計等を接続します。手動加減圧ポンプのハンドルを反時計回りに回し、シリンダ内のピストンが手前に作動し大気を吸入します。
 次に、大気吸入吐出バルブを閉めて圧力発生の準備ができます。加圧操作は、手動加減圧ポンプを時計回り方向に回すとシリンダ内の大気が圧縮され水銀が上昇し液柱型圧力計の値と血圧計等の値を比較し測定できます。減圧測定(戻りの測定)は、手動加減圧ポンプを反時計回りに回すことにより、水銀が下降し液柱型圧力計の値と血圧計等の値を比較測定できます。
- 4. 作業終了後の零点確認**
 減圧操作(戻りの測定)後に大気吸入吐出バルブを開き、大気に開放して液柱型圧力計と血圧計等の零点を確認します。
- 5. 注意事項**
 加圧減圧操作は、ゆっくりと行ってください。特に最大圧力付近で急激な加圧操作を行いますと水銀が急上昇し液柱型圧力計から外部に飛び出します。

※ JCSS 校正証明書・基準器検査成績書・一般校正証明書付きがあります。